

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 25-2-125
補助事業名 平成25年度 福祉事業を行っている法人格を有さない団体に対して
支援を行うことを本来の目的とする活動 補助事業
補助事業者名 社会福祉法人 全国心身障害児福祉財団

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

心身障害児とその家族を対象として総合的に療育相談を行い、障害児ごとに適切な療育相談を行うとともに、全国各地域の父母団体と協力し合い、障害児のための各種の福祉活動を実施し、もって社会福祉の増進に寄与する。

(2) 実施内容

障害児に対する保健、福祉分野の公的サービスは、近年格段に充実されてきたが、自閉症やアスペルガー症候群を含むいわゆる発達障害児の的確な診断、療育上の相談、早期に発見して早期に支援を行う発達障害児やその家族への支援の仕組みはまだ緒に就いたばかりであり、公的な支援体制が整っていない。また、障害児を養育する両親(ひとり親の場合も少なくない)や兄弟などの家族も、障害児の生活支援に大きな役割を果たしているが、これらの家族に対する支援、家族同士の交流や助け合い・励ましあいの諸活動に対する公的支援は極めて限られている。このような中、各種親の会や各PTAが実施している諸活動については、JKKの補助事業が多大な役割を果たしてきた。

本事業は、公的支援が乏しい分野に係る諸事業について、社会福祉法人全国心身障害児福祉財団並びに関連団体のうち法人格を有さない障害児の親の会及び特別支援教育にかかるPTA3団体が実施する事業である。

各団体が行っている内容は以下のとおりである。

1. 全国心身障害児福祉財団 (<http://www.shougaiji-zaidan.or.jp/>)

(1) 障害児及び家族に対する療育相談

年齢を問わず様々な症状を有する障害児(者)及びその親たちに専門的なスタッフを配置し個々のケアを促した。また、発達障害児を主に編集し指導者向けの養育指導書「気になる子どもの支援ハンドブック」を作成し、学校関係者等に無料配布した。歯科治療に関しては、歯科医師を相談員に配置し、多動により一般歯科医院では受入拒否される等の問題を抱えた障害児(者)およびその関係者に対し、適切な解決方法を促した。

療育相談



療育指導書



(2) 障害児及び家族に対する治療訓練

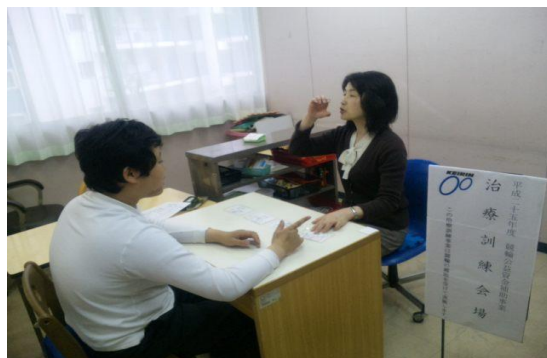
グループ指導は年間35回（平均3回/月）の指導日を3期に分け、個別および小集団で目標を立てて実施。発達段階に応じて、認知発達を促し、社会性、コミュニケーションを伸ばす働きかけを行った。年度末に発達検査を実施し親への面談でフィードバックした。また年度末に親へのアンケートも実施した。

個別指導は一人の子どもに対し、年間6～24回、個別の特性に配慮した指導が行われた。

グループ指導



個別指導



(3) 障害児・者父母団体地域指導者養成研修

2日間の日程で行い、1日目は競輪評論家による競輪の仕組み等の講義及び競輪観戦、2日目は福祉に関する講師を招き講演会の実施と各父母団体の意見交換を行った。今年度は青森競輪場（9月6日～7日）、岸和田競輪場（12月13日～14日）、京王閣競輪場（1月24日～25日）の3会場で行った。

開催場所 青森県 青森競輪場・青森グランドホテル
 大阪府 岸和田競輪場・レイクアルスターアルザ泉大津
 東京都 京王閣競輪場・ホテルコンチネンタル

講師 競輪講座 山野憲一
 福祉講座 三上富士子(権利擁護あおい森ねっと代表理事)
 大谷悟(大阪体育大学健康福祉学部教授)
 大西延英(厚生労働省障害福祉課専門官)

競輪講座



リーダー養成研修



(4) 発達障害幼児に対する早期支援事業

発達障害幼児の早期発見・支援を行うため、専門家チームによる訪問支援活動を実施するとともに、保育士・教諭に対して専門性向上のための研修会を3地域（東京都・岡山県・鹿児島県）で実施するとともに発達障害に関わる情報誌を作成し、関係機関に無料配布した。また、指定した幼稚園・保育所及びその周辺の幼稚園・保育所等の園児・保護者を対象として、スクリーン映像をまじえた読み聞かせコンサート「子育て支援フェスタ」を開催した。

園内研修会



訪問支援活動



子育てフェスタ



2. 全国難聴児を持つ親の会 (<http://www.zennancho.com/>)

(1) 障害児の親のための指導誌(紙)の発行

年間4回(補助対象3回)発行計画を作り、代表者研修会での講演会や各親の会で開催する研修会やキャンプなどを掲載した。また、作文コンクールなどで受賞した難聴児の作品なども掲載した。その他その時々難聴児にかかわる情報の提供を行った。



(2) 心身障害児対策の無料検診

全国の難聴児の家族のための療育相談活動を相談員(主に難聴児を育てた親)が2ヶ所の会場にて毎月3回実施した。

(3) 障害児と保護者の相互理解と将来への指針(1泊2日集団キャンプ)

難聴児教育に携わる専門家や指導員による指導により同じ障害を持つ子どもたちの集団生活の経験や社会性の向上を図るため一泊二日の集団キャンプを3回行った。保護者は、専門家から聴覚障害についての知識などを得る事が出来た。またほかの親や難聴スタッフの体験談を聞くことにより今後の方針についてアドバイスをした。

一泊二日

- | | |
|-----------|--------------------|
| 7月27日～28日 | 県立菊池少年自然の家(熊本県菊池市) |
| 1月25日～26日 | 新樺川観光ホテル(香川県高松市) |
| 2月7日～8日 | 新樺川観光ホテル(香川県高松市) |



7月27日～28日 熊本県菊池市



2月7日～8日 香川県高松市

(4) 被災者支援のためのキャンプ

震災の影響により集団キャンプ事業が行えない地域に属する障害児(者)及び家族に対し、東京を会場として1回実施した。



(5) 難聴児の親のための研修会

難聴児を持つ親に対し、聴覚障害に関わる専門家や成人した聴覚障害者当事者による聴覚障害の正しい知識・理解を習得させ聴覚児の生活環境を整えるための研修会を全国4カ所で実施した。

6月2日 松江市総合福祉センター(島根県松江市)

6月15日 いわき市総合保健福祉センター(福島県いわき市)

12月15日 愛媛県視聴覚福祉センター(愛媛県松山市)

1月18日 西宮市総合福祉センター(兵庫県西宮市)



3. 全国聾学校PTA連合会 (<http://www.normanet.ne.jp/~zenrop/>)

(1) 障害児の親のための指導誌(紙)の発行

ろう学校に通う聾啞児とその家族に対して療育技術の解説を内容とした指導誌を1種類、さまざまな情報や伝達を目的とした会報を3回発行して配布した。

指導誌



会報



(2) 心身障害児対策の無料検診(治療教育相談)

ろうあ児とその家族に対する療育指導を積極的に奨めるために治療教育相談を4回実施した。

- 9月6日 秋田キャッスルホテル(秋田県秋田市)
- 10月16日 ナジックプラザセミナーホール(愛知県名古屋市)
- 10月16日 ルブラ王山(愛知県名古屋市)名
- 11月8日 ホテルフジタ福井(福井県福井市)



(3) 聴覚障害生徒スポーツ振興

ろうあ児の体力向上を通して意欲的な人間を育てるために、卓球大会10月4日～5日鳴門・大塚スポーツパークアミノバリューホール、陸上競技大会11月7日～9日駒沢オリンピック公園総合運動場の日程で実施した。

陸上競技大会



卓球大会



4. 全国盲学校PTA連合会

(1) 障害児の親のための指導誌(紙)の発行

年度総会、理事会、研修会報告、研修会講演内容、盲学校・視覚特別支援学校幼児児童生徒在籍状況、あん摩マッサージ指圧師、はり師、灸師国家試験結果、各地区PTA活動、野球大会、弁論大会、国への予算要望等その他を掲載した指導誌2冊を発行し配布した。

また、盲者用に指導誌をCD化した物も配布した。



(2) 障害児と保護者の相互理解と将来への指針(1泊2日集団キャンプ)

日頃社会から隔絶された状況にある盲学校へ通う盲児とその家族に対し、将来への生きる指針を獲得させるために一泊二日の集団キャンプを兵庫県にて実施した。



(3) 視覚障害生徒スポーツ振興

盲児の体力向上を通して意欲的な人間を育てるために、野球大会を石川県で8月21日～23日の日程で実施した。



5. 全国病弱虚弱教育学校PTA連合会

(<http://zenbyopren.sakura.ne.jp/zigyokatudou.html>)

(1) 障害児の親のための指導誌(紙)の発行

病弱特別支援学校に通う病弱虚弱児とその家族に対して療育技術の解説を内容とした指導誌を発行して配布した。



(2) 障害児と保護者の相互理解と将来への指針(1泊2日集団キャンプ)

日頃社会から隔絶された状況にある病弱虚弱児とその家族に対し、将来への生きる指針を獲得させるために一泊二日の集団キャンプを3回実施した。

- 8月3日～4日 伊予ロッヂ(山梨県北杜市)
- 8月21日～22日 三浦ふれあいの村(神奈川県三浦市)
- 8月22日～23日 ホテルボンセジュール(愛知県蒲郡市)

(3) 社会復帰のための社会適応講座の開催

学校卒業を目前にした病弱虚弱児に対して社会適応のための実践的な指導講座を4回実施した。

8月20日 浜松技術専門学校(静岡県浜松市)

8月27日 県立浪岡養護学校(青森県青森市)

3月26日 ホテルポートプラザちば(千葉県千葉市)

3月26日 マザー牧場他(千葉県富津市)



2 予想される事業実施効果

1. 全国心身障害児福祉財団

(1) 障害児及び家族に対する療育相談

本財団療育相談センターの受診で得た知識と自信によって、今後の家庭での生活に向けて大きな支えとなっていくことが期待される。また、療育指導書を発行することで、障害児療育についての関係者に対する知識の向上に役立つと期待される。

(2) 障害児及び家族に対する治療訓練

グループ治療訓練に関しては、今後も発達段階に合わせた働きかけを適切に行うことで、考える力を育て、自閉症スペクトラム児の苦手な社会性の獲得を進めていくことが期待される。

個別治療訓練は、個々の発達段階と特性に応じた指導を行い、発達を促すとともに、適応力を伸ばしていくことが期待される。親が毎回子どもの指導場面に参加することで、子どもへの対応の仕方を学んでいくことも期待できる。

(3) 障害児・者父母団体地域指導者養成研修

競輪補助金の知識や認識を深めた事で今後行われる補助事業に関しても再認識して事業実行するものと思われる。また、普段はあまり交流の無い団体同士が、互いの意見を交換しあう事でお互いを理解することができたと予想される。

(4) 発達障害幼児に対する早期支援事業

園内研修会では、発達障害児の特性を学ぶことで、発達障害児や配慮が必要な子どもの行動の共通理解と一貫性のある支援へと結びつくことが期待される。

訪問支援活動では、園内での保育場面において子どもの様子を観察し、その場において指導・支援の具体的な方法をモデル提示することによって、子どもの特性に応じたより望ましい具体的な関わりへの気づきと実践に結びつくことが期待される。

また、子育て支援情報誌を配布することにより、これからの子育てに対する実践教育に結びつくことが期待される。

子育て支援フェスタについては親子のふれあいを深めたとともに、子ども達の情操教育に役立つと期待される。

2. 全国難聴児を持つ親の会

(1) 障害児の親のための指導誌(紙)の発行

難聴児及び家族にとって、療育技術の解説やさまざまな情報を自分のものとして生かしていくことが予想される。

(2) 心身障害児対策の無料検診

難聴児及びその家族が、最新の療育水準を獲得したことで、社会参加への明るい希望と自信を持つことが予想される。

(3) 障害児と保護者の相互理解と将来への指針(1泊2日集団キャンプ)

将来への生きる指針を獲得することで、地域社会に積極的に溶け込み、しいては明るい人生を歩んでいくことが期待できる。

(4) 被災者支援のためのキャンプ

被災地(岩手・宮城・福島)の環境とは違う生活環境の中で、今後の復興生活への希望と自信を持つことが予想される。今後は、被災地ではない子供たちとのふれあいを企画する話題も出ておりこれからの事業の発展が期待される。

(5) 難聴児の親のための研修会

日頃、一生懸命難聴児のために情報を習得している母親ではなく、父親の参加を呼び掛けた結果、今迄あまり関心がなかったことに興味を抱いていただき、これから難聴児の成長に大きな変化が現れると期待される。

3. 全国聾学校PTA連合会

(1) 障害児の親のための指導誌(紙)の発行

ろうあ児とその家族が療育技術の解説やさまざまな情報を自分のものとし

て生かしていくことが予想される。

(2) 心身障害児対策の無料検診(治療教育相談)

ろうあ児とその家族に最新の治療教育水準を獲得したことで、社会参加への明るい希望と自信を持つことが予想される。

(3) 聴覚障害生徒スポーツ振興

ろうあ児の体力向上を通して意欲的な人間形成に寄与することで、ろうあ児の社会参加の可能性を拡大していくことが予想される。

4. 全国盲学校PTA連合会

(1) 障害児の親のための指導誌(紙)の発行

盲学校へ通う盲児とその家族が療育技術の解説やさまざまな情報を自分のものとして生かしていくことが予想される。

(2) 障害児と保護者の相互理解と将来への指針(1泊2日集団キャンプ)

将来への生きる指針を獲得させることで、地域社会に積極的に溶け込み、しいては明るい人生を歩んでいくことが期待できる。

(3) 視覚障害生徒スポーツ振興

盲児の体力向上を通して意欲的な人間形成に寄与することで、盲児の社会参加の可能性を拡大していくことが予想される。

5. 全国病弱虚弱教育学校PTA連合会

(1) 障害児の親のための指導誌(紙)の発行

病弱虚弱児とその家族が療育技術やさまざまな情報を自分のものとして生かしていくことが予想される。

(2) 障害児と保護者の相互理解と将来への指針(1泊2日集団キャンプ)

将来への生きる指針を獲得させることで、地域社会に積極的に溶け込み、しいては明るい人生を歩んでいくことが期待できる。

(3) 社会復帰のための社会適応講座の開催

実践的な意欲と技術を獲得することで、社会参加への自覚と責任を持って意欲的な人生を歩んでいくことが予想される。

3 本事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

ア. (福) 全国心身障害児福祉財団 (<http://www.shougaiji-zaidan.or.jp/>)

気になる子どもの支援ハンドブックⅡ A4判 205頁 3,000部

子育て支援情報誌No.7 A4判 24頁 4,000部

子育て支援情報誌No.8 A4判 24頁 4,000部

- 子育て支援情報誌No.9 A4判 24頁 4,000部
- イ. 全国難聴児を持つ親の会 (<http://www.zennancho.com/>)
- 「べる No.161」 B5判 32頁 4,500部
 - 「べる No.162」 B5判 32頁 4,500部
 - 「べる No.163」 B5判 24頁 4,500部
- ウ. 全国聾学校PTA連合会 (<http://www.normanet.ne.jp/~zenrop/>)
- 「会報 No.216」 B5判 10頁 10,000部
 - 「会報 No.217」 B5判 10頁 10,000部
 - 「会報 No.218」 B5判 10頁 10,000部
 - 「道標 No.40」 B5判 40頁 10,000部
 - 「全国聾学校陸上競技大会」要綱 A4判 106頁 1,000部
 - 「全国聾学校陸上競技大会」ポスター A2判 300枚
 - 「全国聾学校卓球大会」要綱 A4判 62頁 700部
 - 「全国聾学校卓球大会」ポスター B2判 300枚
- エ. 全国盲学校PTA連合会
- 「手をつなごう No.44」 A4判 32頁 4,450部
 - 「手をつなごう No.45」 A4判 8頁 4,450部
 - 「全国盲学校野球大会」要綱 A4判 40頁 700部
 - 「全国盲学校野球大会」ポスター A1判 350枚
- オ. 全国病弱虚弱教育学校PTA連合 (<http://zenbyopren.sakura.ne.jp/>)
- 「会報 No.35」 A4判 24頁 4,500部

(2)(1) 以外で当事業において作成したもの
なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名 社会福祉法人 全国心身障害児福祉財団

(ゼンコクシンシンショウガイジフクシザイダン)

住 所 170-0005 東京都豊島区南大塚3丁目43-11

代表者名 理事長 伍藤 忠春(ゴトウ タダハル)

担当部署 事務局(ジムキョク)

担当者名 主幹 町野 忠史(マチノ タダシ)

電話番号 03-5927-1284

FAX 番号 03-5927-1281

E-mail gyoumubu@shougaiji-zaidan.or.jp

URL <http://www.shougaiji-zaidan.or.jp/>